

刑務官を志望したきっかけ

私が大学卒業後も柔道を続けたいと思いつつ就職活動をしていたときに、大学の先輩から、「刑務官は、やりがいがある上に、勤務時間終了後に柔道をする環境が整っている素晴らしい仕事である」と勧められたことが志望の動機です。

刑務官になってよかったと感じたこと

- ・収入が安定していること
- ・今までやってきた柔道の経験が仕事面で役に立つこと



現在の仕事内容とやりがい



現在の業務は、「**SeRT隊員**」として、大規模災害や保安事故等の非常事態に備えて、日々訓練に取り組んでいます。

そのやりがいは、刑務所などの施設勤務では学ぶことのできないような、**多くの経験ができる**ことです。

刑務官としての経歴

今年で採用8年目です。

採用施設では、**昼夜間勤務**（いわゆる「夜勤」）、日勤フリー（夜勤のない、日勤で様々な勤務に就く役割）や**職業訓練所担当**として勤務していました。



SeRT隊員として感じたこと

特別機動警備隊に任命されたときは、自分がSeRT隊員として務まるのか不安でしたが、現在は、**誇りと責任感**を持ち、**他の職員の模範となれるよう**、日々の訓練に励んでいます。施設勤務では経験できないような**貴重な経験**をしていると感じています。

災害派遣で感じたこと

自分では、一生懸命、日々の訓練に取り組んでいるつもりでしたが、**台風被害を受けた地域で災害復旧支援活動に就いた際**、**自分に災害復旧支援のための知識や技術、体力が足りないことを痛感**しました。

災害復旧支援活動を経験して、**単純でつまらなく感じる訓練ほど、そうした場面で自分の自信と技術につながる**ということに気づかされました。

武道訓練について

多くのSeRT隊員が勤務後に**武道訓練に取り組んでおり**、**様々な大会に出場し、好成績を残しています**。隊員同士だけでなく、東京拘置所の職員とも稽古ができるので、**とても恵まれた環境で、充実しています**。**全員が集中して取り組んでおり、雰囲気はとてもいいです**。

武道経験が生かせたと感じたこと

矯正護身術では、**柔道で学んだ崩しや極（き）め、礼節が生かされています**。

また、**日々の武道訓練で心と体を鍛えてきたことで**、**SeRTでの体を使う訓練にもしっかりと取り組むことができます**。

今後の目標

武道については、これからも訓練に励み、引き続き選手として活躍することが目標です。

また、SeRTで得た経験を、将来、大規模災害等の非常事態が起こったときに、自ら先陣を切って現場で動けるようになって、生かしていきたいです。



これから刑務官（武道区分）を志望する方に一言！



私は幼いころから続けていた柔道のおかげでこの職業に就くことができました。

そして柔道の経験が今の勤務にも生かされています。**武道の経験者**は矯正施設において、貴重であり、**現場で重宝される人材**だと思います。

一緒に武道を通じて矯正を盛り上げていければと思います。